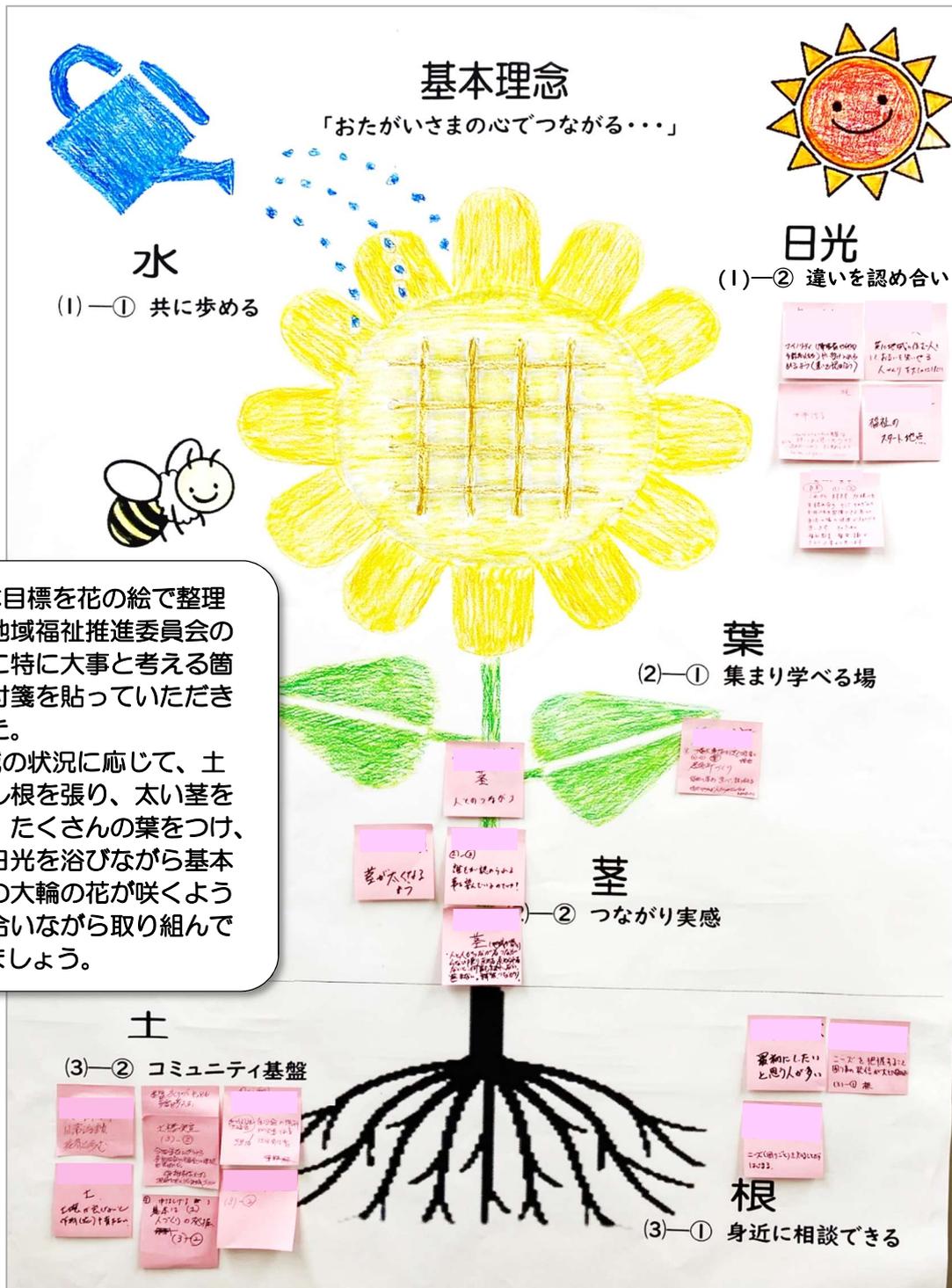


# 第3次 近江八幡市地域福祉活動計画

## ダイジェスト版



基本目標を花の絵で整理し、地域福祉推進委員会の委員に特に大事と考える箇所に付箋を貼っていただきました。

地域の状況に応じて、土を耕し根を張り、太い茎を作り、たくさんの葉をつけ、水と日光を浴びながら基本理念の大輪の花が咲くよう話し合いながら取り組んでいきましょう。

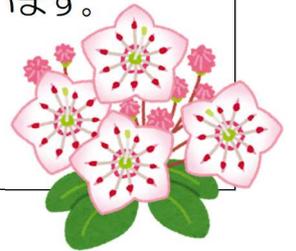


## 社会福祉協議会ってなあに？

社会福祉協議会は、地域住民の皆さまやさまざまな関係機関と一緒に、福祉のまちづくりを進めていく民間の非営利団体です。皆さまの住むまちの課題や特性に合わせて誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを推進する事務局的作用を担っています。

また、社会福祉協議会では、福祉の困りごとの各種相談をお受けしています。

どこに相談したらよいかわからない、お困りのことがありましたらお気軽にご相談ください。



## 地域福祉ってなあに？

近江八幡市に住んでいるみんなが協力して、お互いに助け合ったり、支えあうことで、すべての人が暮らしやすい地域づくりをめざしていくことです。



## 地域福祉活動計画とは？

近江八幡市社会福祉協議会が呼びかけて、市民や団体・事業所・関係機関と一緒に作った、福祉のまちづくりを具体的に進めるための計画です。



## 第3次地域福祉活動計画の基本理念と基本目標

『近江八幡市地域福祉活動計画』の基本理念は

「お互いさま」の心でつながる  
参加と支えあいのまち 近江八幡

とします。

基本理念の実現に向け、近江八幡市が策定する地域福祉計画と同じ3つの基本目標を掲げ、計画を推進していきます。

また、3つの基本目標ごとにめざす地域の姿を描き、その姿の実現に向けて行動計画を定め、取り組みを進めます。

さらに、基本理念の実現のために大切にしたい4つの基本視点を意識して取り組みを進めます。

## 4つの基本視点

### ①語り合おう

地域福祉を進めるために、まずは身近な人を想い、地域への関心や愛着をもつことが何よりも大切です。

一人の問題をみんなの問題として考え、どんな福祉のまちづくりが大事なのかをみんなで語り合い、いろんな考えを受け止めながら、ビジョンを共有していきます。

目指す地域  
基本目標2-(1)



### ②つながろう

新型コロナウイルス感染症の影響で、生活に様々な制約ができ、人と人とのつながりが途絶えがちで孤独を抱える人が増えています。また、私たちの多くは困りごとを抱えてもSOSが出しにくいものです。

このような局面だからこそ、身近な地域でお互いを気にかけて、声をかけ、つながりが実感できる交流や連携の場を広げていきます。

目指す地域  
基本目標1-(1)  
基本目標1-(2)



### ③支えあおう

隣近所など顔の見える範囲を基本に、見守り支えあい活動を推進し、災害時などのいざという時も助け合える地域づくりを進めます。

また、いきなり公的機関に困りごとを相談しづらいという声も聞かれます。身近な地域に相談を受け止めてくれる人がいて、必要に応じて民生委員児童委員や社会福祉協議会、行政に相談がつながっていく仕組みをつくっていきます。

目指す地域  
基本目標2-(1)  
基本目標3-(1)



### ④ともに暮らそう

すべての人が、年齢や性別、障がいの有無等に関係なく自分らしく生活し続けられる地域、生きづらさのない社会をめざします。また、少子高齢化が進み、従来の地域福祉を支えてきたコミュニティの基盤の営みが難しくなっています。暮らしを支えるコミュニティが次世代にわたって持続できるまちづくりに向かって協議をすすめ、取り組んでいきます。

目指す地域  
基本目標2-(2) 基本目標3-(2)



## 基本目標 1 お互いを思いやるまちをめざします ～人づくり～

地域のつながりや近所づきあいが希薄化し、困りごとを抱えていても「助けて」と言えない風潮があります。誰もが住みよい福祉のまちづくりをめざすため、お互いを認め合い、「助ける側」「助けられる側」ではなく、困った時はお互いに支えあいができる関係づくり（「おたがいさん」の地域づくり）を目指します。地域住民だけではなくその地域の企業や医療機関、社会福祉法人、行政等がともに協議や事業に参画し、一緒に取り組む必要があります。

めざす地域	行動計画（市社会福祉協議会）
1-1 一部の人だけではなく、皆が関わり、ともに歩める地域にしたい	①福祉活動につながる情報発信 ②地域福祉リーダーの育成 ③ボランティア活動のきっかけづくり（活動支援）
1-2 違いを認め合い、「おたがいさん」を次の世代に伝え、「助けて」と言える地域にしたい	①地域共生社会の実現に向けた福祉教育、啓発活動の実施



子ども食堂実施団体による情報交換の様子



金田小学校福祉教育推進委員会の様子



生き生き男性講座キラリ輝く男（おやじ）塾の様子

10年後はいつも各地で井戸端会議が行われているような そんなあいさつの絶えない地域づくりができればいいな  
～地域のみなさんの声より～



## 基本目標2 参加とつながりによる支えあいのまちをめざします

～ つながりづくり ～

働きながら子育てを行う世帯や退職後も働き続ける人が増え、多忙な日常を送る中で、地域とのつながりが薄れ、地域に住む私たち自身が地域のことで感じていること、考えていることを伝え合う場や、共有する機会が少なくなっています。

さらに、コロナ禍において、私たちの生活の中で人と人との「つながり」が実感できず、生活に希望が持てない人が増えています。このような時だからこそ、身近な地域でお互いを気にかけて、声をかけ、つながりをつくる見守り支えあい活動がますます必要になっています。

また、家庭に閉じこもったまま社会とのつながりが持てずにいる「ひきこもり」、障がいや病気のある親やきょうだいの介護や世話をしている「ヤングケアラー」など、これまで可視化されてこなかった課題が認識されるようになってきました。支援を必要とする当事者ならではの思いを分かち合う交流の場や、社会で働くまでのステップとしての社会参加の場の拡充など、できることを地域で生かすことができる仕組みづくりに取り組んでいきます。

めざす地域	行動計画（市社会福祉協議会）
2-1 思いを語りながら、誰もが自由に集まり、学べる場がある地域にしたい	①協議・協働のための話し合いの場づくり ②日常生活圏域における多様な人が集う地域拠点づくり ③社会福祉法人等との連携強化 ④行政・関係機関との連携 ⑤身近な地域で子どもから大人までつながれる居場所づくりの推進
2-2 一人ひとりができることを生かして、喜びやつながりが実感できる地域にしたい	①身近な地域の見守り支えあい活動の推進 ②社会参加できる場づくりの推進 ③困りごとを抱えた人同士が安心して過ごせる居場所づくり ④当事者組織の活動支援

子どもから高齢者まで自由に集まることができ、したいことができる交流の場ができたかなと思います  
～地域のみなさんの声より～



感染症対策をして取り組む子ども食堂の様子



高齢者宅への見守り訪問の様子

## 基本目標3 安心して暮らせるまちをめざします

～ 基盤づくり ～

近年地域住民が抱える課題がますます複雑化・複合化しており、子ども・障がい・高齢・生活困窮といった分野別の支援体制では、複雑化・複合化した生活課題への対応が困難になっています。まずは日頃からの身近な地域で見守り、支援を必要とする人に早く気づき、受け止めた困りごとをスムーズに支援機関につなぐことが大切です。そして解決に向けて支援体制が組めるよう、行政をはじめ各種専門機関と地域の連携をさらに強化し、課題を抱える相談者やその世帯への丸ごとの支援体制につなげていきます。

また、少子高齢化、定年後の就労などの生活様式の変化等により、地域の担い手が不足していることから、従来の高度成長期に形成されたまちづくりの仕組み自体を地域住民が継承し続けることが難しくなっています。さらに、地域住民の自然災害への対応を求める声が高まっており、今後自治会をはじめとする地縁組織には福祉と防災が連携した対応が避けられないものになっています。求められる地域ごとの課題を解決するためには、今後5年で取り組んでいくための基盤をしっかりと作っていく必要があります。

地域福祉の推進を使命とする市社会福祉協議会自身も、より信頼が得られるよう、体制強化が必要です。

めざす地域	行動計画（市社会福祉協議会）
3-1 困った時に身近に相談できる人がいて、必要な人に支援が届く地域にしたい	①つながりから困りごとを受け止め、スムーズに専門職につなげる仕組みづくり
3-2 暮らしを支えるコミュニティ基盤が持続できる地域にしたい	①見守り支えあいネットワークの推進 ②複雑多様化する福祉課題に対する地域コミュニティの基盤づくり ③災害支援の仕組みづくり ④社会福祉協議会の組織基盤強化



その人に必要な支援が届けられるように、普段から見守り支えあいを進めていきたいです  
～地域のみなさんの声より～



市社協と市民生委員児童委員協議会との協働による新型コロナウイルス感染症自宅療養者への緊急食糧等支援事業『困ったときはお互いさん便』箱詰めの様子



災害ボランティアセンター設置・運営訓練の様子

## 各学区における『地域福祉の課題と方向性』

令和2年度から3年度にかけて、学区（地区）社会福祉協議会等をはじめとする、地域住民の皆さまと話し合い、学区域における『地域福祉の課題と方向性』をまとめました。すでに福祉計画を策定している学区においては、福祉計画を基に再度確認し、整理しました。

学区ごとの計画の実現に向けて、市社会福祉協議会と学区で連携して、課題の解決に向けて取り組めます。（詳細は、「第3次近江八幡市地域福祉活動計画活用版」に記載）



（桐原学区第3次近江八幡市地域福祉活動計画策定に伴う意見交換会）



（島学区見守り支えあい推進委員会）



（岡山学区見守り支えあい推進委員会）



（武佐学区地域福祉計画策定集約会議）

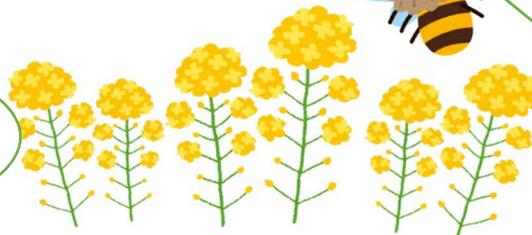
学区名	話し合いの場	学区名	話し合いの場
八幡学区	八幡学区社会福祉協議会4役会議	馬淵学区	馬淵学区地域福祉活動推進委員会 計画推進部会
島学区	島学区見守り支えあい推進委員会	北里学区	北里学区見守り支えあい推進委員会
沖島学区	沖島学区まちづくり協議会 健康福祉部会・自治会議員会	武佐学区	武佐学区 地域福祉計画策定集約会議等
岡山学区	岡山学区見守り支えあい推進委員会	安土学区	安土地区見守り支えあい推進委員会
金田学区	金田学区見守り支えあい推進委員会	老蘇学区	安土地区見守り支えあい推進委員会
桐原学区	桐原学区第3次近江八幡市地域 福祉活動計画策定に伴う 意見交換会		



自治会単位では  
解決できない課題を、  
学区単位で何ができるか  
話し合っているんだね



生活の困りごとを  
お手伝いする「学区  
単位の生活支援グル  
ープ」も、学区の話  
合いから誕生したの  
よ



～ 福祉に関するお困りごとは社会福祉協議会へ ～

内 容	場 所	電話番号/ファックス
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 寄付に関すること</li> <li>● 赤い羽根共同募金に関すること</li> <li>● レクレーション備品・車いすの貸出に関すること</li> </ul>	総務課 法人運営グループ	TEL 0748-32-1781 FAX 0748-36-6910
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域福祉活動計画に関すること</li> <li>● ボランティアに関すること</li> <li>● 福祉のまちづくりに関すること</li> <li>● 福祉教育に関すること</li> </ul>	地域福祉課 地域福祉推進グループ	TEL 0748-31-2677 FAX 0748-36-6910
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 福祉の困りごと</li> <li>● 経済的なこと</li> <li>● 食糧支援に関すること</li> </ul>	地域福祉課 生活支援グループ	TEL 0748-32-6111 FAX 0748-36-6910
● 介護に関すること	在宅福祉課 居宅介護支援事業所	TEL 0748-34-6906 FAX 0748-33-1655
	デイサービスセンターひまわり	TEL 0748-34-6905 FAX 0748-31-0161
	デイサービスセンターひまわり サテライト	TEL 0748-46-7219 FAX 0748-46-8343
	ヘルパーステーションあづち	TEL 0748-46-6321 FAX 0748-46-8343
● 障がいに関すること	相談支援事業所 ガイドヘルプひまわり	TEL 0748-33-1699 FAX 0748-33-1655

第3次近江八幡市地域福祉活動計画《ダイジェスト版》

令和4年3月発行

社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会  
〒523-0082 近江八幡市土田町 1313 番地  
近江八幡市総合福祉センター ひまわり館内  
TEL 0748-32-1781 (代表)  
ホームページ <http://ohshakyo.or.jp>  
Eメール [ohshakyo@gmail.com](mailto:ohshakyo@gmail.com)  
〒521-1342 近江八幡市安土町上出 908 番地 1  
Eメール [ohazuchi@gmail.com](mailto:ohazuchi@gmail.com)

